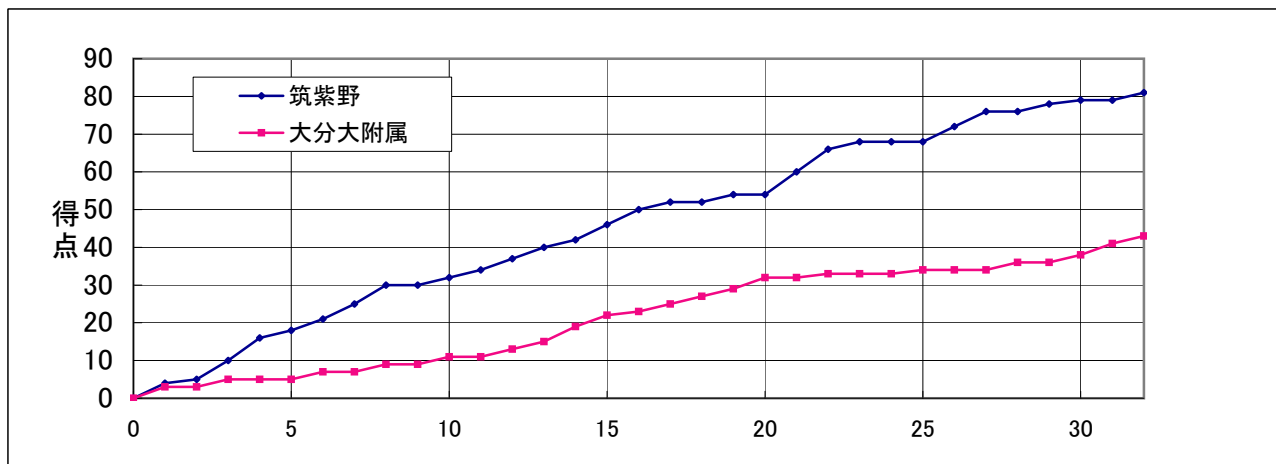


大会名	平成21年度 第30回全九州中学生 バスケットボール春季選手権大会	B5	14:50	男子2回戦																
		筑紫野 81 (福岡1位) ○	<table border="1"> <tr><td>30</td><td>—</td><td>9</td></tr> <tr><td>20</td><td>—</td><td>14</td></tr> <tr><td>18</td><td>—</td><td>10</td></tr> <tr><td>13</td><td>—</td><td>10</td></tr> <tr><td>—</td><td>—</td><td>—</td></tr> </table>	30	—	9	20	—	14	18	—	10	13	—	10	—	—	—	43 大分大附属 ● (大分1位)	
				30	—	9														
20	—	14																		
18	—	10																		
13	—	10																		
—	—	—																		
期日	2010年(平成22年)3月13日(土)																			
会場	大分県立総合体育館																			

主審 藤井 博茂 副審 野田 宏樹



タイム・アウト(経過時間)

1Q・2Q	3Q・4Q	OT1	OT2
—	24:19	—	—

### 筑紫野

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F
4	* 帯刀 滉暉(C)	21	3	6	0	0
5	* 砥綿 啓伍	20	2	5	4	1
6	* 野中 亮吾	16	0	7	2	3
7	* 中村 文紀	10	0	5	0	5
8	原田 成斗	0	0	0	0	0
9	鐘江 啓斗	—	—	—	—	—
10	添田 拓斗	—	—	—	—	—
11	市川 恭平	—	—	—	—	—
12	* 濱田 健太	6	0	3	0	4
13	安藤 琢郎	6	0	3	0	4
14	瀬戸 洸平	2	0	1	0	1
15	久松 龍孔	—	—	—	—	—
16	田代 浩太郎	0	0	0	0	0
17	上野 達也	0	0	0	0	1
18						
コーチ	帯刀 三寛					
合計		81	5	30	6	19

タイム・アウト(経過時間)

1Q・2Q	3Q・4Q	OT1	OT2
03:46	26:57	—	—

### 大分大附属

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F
4	篠田 侃隆	0	0	0	0	0
5	* 大西 陵仁	6	0	3	0	0
6	衛藤 逸平	—	—	—	—	—
7	* 永島 佑一(C)	5	1	0	2	1
8	* 橋 泰地	15	3	1	4	4
9	* 合屋 亮佑	2	0	1	0	0
10	* 衛藤 裕太	5	0	2	1	1
11	三輪 信嘉	—	—	—	—	—
12	甲斐 一史	—	—	—	—	—
13	帆足 直也	—	—	—	—	—
14	堀 雄士郎	4	0	0	4	0
15	新村 壮司	4	0	2	0	0
16	吉良 倫太郎	2	0	1	0	1
17	川合 健斗	—	—	—	—	—
18	高木 崇丞	—	—	—	—	—
コーチ	後藤 真一郎					
合計		43	4	10	11	7

\*…スターター (C)…キャプテン 3P…3点シュート 2P…2点シュート FT…フリースロー F…ファウル R…リバウンド As…アシスト

## 戦評

1Q、筑紫野#6野中のミドルシュートでゲームがスタート。筑紫野は、序盤から2-2-1オールコートプレス、ハーフからは2-3ゾーンディフェンスでプレッシャーを与え、インターセプトから得点を重ねる。残り4分で16-5となり、附属は1回目のタイムアウトをとる。附属は、#8橋#5大西のシュートで応戦するが、リズムがつくれず30-9で終了。

2Q、附属はオールコートのゾーンプレスと1-2-2ゾーンディフェンスをつかい、徐々にリズムをつかんできた。筑紫野は、#4帯刀、#5砥綿、#7中村が得点し、50-23で前半終了。

3Q、後半始まってすぐ、筑紫野にファウルがかさみ、附属が流れをつかみはじめる。残り5分で54-32までつめよるが、附属のミスが重なり、得点をのばすことができない。筑紫野もボール運びでミスを連発。どちらも決め手にかける展開となる。残り4分から、筑紫野のディフェンスが機能し始め、パスインターセプトから速攻で走り、筑紫野のリズムでゲームが進み、68-33で終了。

4Q、一進一退の攻防を繰り返すが、筑紫野がディフェンスをがんばり、附属のミスを誘う。筑紫野は、パスカットから#4帯刀#5砥綿#6野中を中心に速攻で得点を重ねた。さらに、残り4分から、#14瀬戸のボール運びと1on1からのプレーを中心に得点をかさね81-43で試合終了。粘り強くディフェンスをし、速攻に結びつけた筑紫野のプレーが光ったゲームだった。

© 2010 Yuzo Kosaka All Rights Reserved Vol.0063

記者 前田、卯野 (所属) 大分県バスケットボール協会